

逢いたいときにいつでも逢える名画の館

1989年4月に桐生市を一望する水道山の中腹に開館した大川美術館のコレクションは、桐生市出身の実業家 大川栄二(1924-2008)が40年にわたり収集した約1200点の作品を根幹としています。

収蔵作品は、現在約7500点をかぞえ、松本竣介、野田英夫を中心とした日本近現代の美術を展示しております。また、西洋絵画では、ピカソ、ルオーをはじめ、20世紀アメリカを代表するベン・シャーンらを中心に約600点を収蔵。また、日本画約100点や世界的なテキスタイルプランナー新井淳一のテキスタイルなど、多岐にわたります。



外観 撮影：木暮伸也

「メンバーシップ制度」

当館では、多くの皆さまに大川美術館運営の一翼を担っていただくことを目的に、メンバーシップ制度を設けご支援をお願いしております。

- PMO(個人会員) 年会費 20,000円
- BMO(法人会員) 年会費 50,000円～

※詳しくは当館公式ホームページをご覧ください。

年間パスポートを販売中です!

大川美術館ではお得にご入館いただける年間パスポートを販売しています。みなさまのパスポートご利用が大川美術館に向けたとも力強い応援になります。どうぞご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○年間パスポート 3,600円

：発行日から1年間有効。期間中何回でもご来館いただけます。
*大川美術館カフェでご利用いただけるお飲み物券を2枚進呈いたします。

表紙：ベン・シャーン《ゴエスカス》1956年 グワッシュ・紙 98.5×64.8cm
© 2026 Estate of Ben Shahn / ARS, New York / JASPAR, Tokyo G4175

■ご利用のご案内

開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日(祝日、振り替え休日の場合開館、翌火曜日休館)
※このほかに、下記展示替えのための休館日があります。なお、休館日は都合により変更になる場合がございます。当館公式ホームページにてご確認ください。
2026年4月1日(水)～4月24日(金)、6月22日(月)～7月17日(金)、9月14日(月)～10月9日(金)、12月14日(月)～2027年1月22日(金)

入館料 (企画展・コレクション展共通)
一般1,200円 高・大生600円 小・中生300円
※20名以上の団体20%割引。
※障がい者手帳等をお持ちの方、および付き添いの方1名は50%割引。
※65歳以上の方は20%割引。
※小・中学生を同伴する保護者の方は2名まで50%割引。
※毎月第一土曜日(桐生市内・桐生天満宮古民具骨董市および買場紗綾市開催日)は入館料20%割引。
※織物参考館「紫」入館券をお持ちの方は20%割引。
※リピーター割引
同じ企画展の会期中、チケット半券をご提示で、2回目以降の入館料半額。
※割引の併用はできませんのでご了承ください。

施設案内 ミュージアムショップ/カフェ/図書室

■交通のご案内

電車 ・東武浅草駅より、赤城行き「特急りょうもう号」で新桐生駅まで100分(北千住駅より約90分)。駅よりタクシーで約10分。
※なお、沿線の相老駅からは、わたらせ渓谷鉄道[桐生駅で下車]に、終点の赤城駅からは、上毛電気鉄道[西桐生駅で下車]への接続があります。事前に時刻を確認のうえご利用ください。
・JR桐生駅より、徒歩約15分。タクシーで約5分。
・上毛電気鉄道西桐生駅より、徒歩約10分。※途中、急な坂および階段があります。

車 ・北関東自動車道：太田・蕨塚I.C.または太田・桐生I.C.より約25分。
・東北自動車道：佐野・藤塚I.C.より約60分。



*JR桐生駅方面より徒歩の方には、幼稚園の裏手から●の部分に近道がございます。(途中急な坂および階段あり)

公益財団法人 大川美術館
〒376-0043 群馬県桐生市小曾根町3-69(水道山中腹)
TEL:0277-46-3300 FAX:0277-46-3350
E-mail:okawa-m@thcia.ocn.ne.jp
URL: <http://www.okawamuseum.jp>

OKAWA MUSEUM OF ART

EXHIBITION SCHEDULE



展示のご案内

2026.4～2027.3



大川美術館

2026年4月25日(土)～6月21日(日)

野見山暁治

—空にあそぶイメージたち—

野見山暁治(1920-2023)は、どこかにある風景をさぐりながら、心に広がる風景を鮮やかな色彩と躍動感あふれる形象によって描き続けました。一般財団法人野見山暁治財団より2024年度に寄贈された素描25点を中心に、油彩や版画を加え約40点により、昭和戦中期から晩年までの創作の軌跡をご紹介します。



野見山暁治《当てにはならない》2021年 練馬区立美術館蔵

2026年7月18日(土)～9月13日(日)

いま、美術館にいるんだけど

—唐澤龍彦の「コミック」と大川美術館—



桐生市在住のアーティスト唐澤龍彦(1964-)の作品と物語が、大川美術館で出会う展覧会。国籍や性別を超えた個性豊かな動物たちが、当館のコレクションを案内し、さまざまな視点からの鑑賞に誘います。

唐澤龍彦《つぎにとまるばしょ》2018年 作家蔵

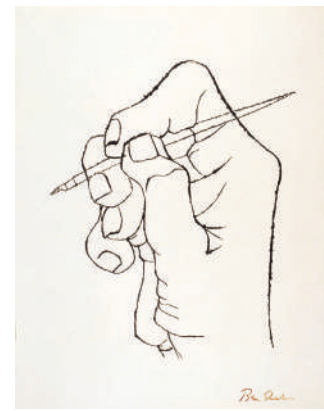
◇特集展示 シュルレアリスムの時代



三岸好太郎《筆彩素描集「蝶と貝殻」より 海洋を渡る蝶》1934年

2026年10月10日(土)～12月13日(日)

大川美術館・高崎市美術館のコレクションによる ベン・シャーン —つたえる手—



ベン・シャーン(1898-1969)は、日常の希望や不条理に立ち向かう人々の姿を、鋭い観察眼と温かなまなざしで描きました。高崎市美術館の約40点と、大川美術館の代表作約50点をあわせて展示します。

ベン・シャーン
《版画集「一行の詩のためには…：リルケ「マルテの手記」より」
一篇の詩の最初の言葉》1968年

◇特集展示 アメリカのモダン・アート
—ジョン・スローンからポップ・アートまで—



ジョン・スローン《版画鑑定家》1905年

2026年4月25日(土)～6月21日(日)

【同時開催】特別展示 「無言館」の作品 戦没画学生慰霊美術館



無言館外観

戦没画学生慰霊美術館「無言館」(長野県上田市)の作品約30点を展示します。戦中期の体験を胸に野見山暁治が遺族を訪ね託された作品を通し、同世代の画学生たちへの思いと絆を再考します。

2027年1月23日(土)～3月28日(日)

桐生のアーティスト2027 —Textile now in KIRYU—

桐生ゆかりのアーティストたちによるグループ展。ファッションやデザインとも交差する、桐生におけるテキスタイルアートの「いま」をご覧ください。

【出品予定作家】(五十音順)
上杉陸・上杉友美、OLN、片倉洋一、川上由綺、高澤恵美、寺村サチコ、畠山陽子

◇特集展示 没後10年 テキスタイル・プランナー新井淳一

桐生に生まれ、天然繊維から金属糸まで多様な素材により革新的な布を生み出した新井淳一(1932-2017)。素材開発や後進の育成にも尽力しました。没後10年の節目として、布の可能性を切り拓いた代表作を紹介いたします。



新井淳一《メルトオフ・転写メタリック織物》制作年不詳